



# しあわせSun

社協だより

## 主な内容

- 岩手県社会福祉大会長、県民児協会長、県老連会長表彰ほか… 2ページ
- 久慈市社会福祉大会… 3ページ
- 平成25年度福祉作文コンクール優秀作紹介… 4～6ページ
- 「すこやかルーム」開設、ふれあいサロンだより… 7ページ
- 白樺大学案内、共同募金会… 8ページ
- お知らせ・ご案内… 9ページ
- 歳末たすけあい運動、生活復興支援… 10ページ

## 結いっこ のフェスタ

やませの里



11月3日、福祉の村において、「やませの里・結いっこフェスタ」（主催：チャレンジド結いっこ・やませの里連絡協議会）が開催されました。

輪投げや吹き矢などのゲーム体験のほか、障がい者による作品を集めた作品展や福祉施設製品の販売が行われ、130名が来場しました。

障がい者フライングディスク協会によるフライングディスク体験をした参加者は、「難しかったけど、すごく面白い！」と大いに盛り上がり、福祉の村にはたくさんの笑顔があふれました。

# 岩手県社会福祉大会

11月6日開催の「第66回岩手県社会福祉大会」において、多年にわたり社会福祉の増進に貢献された次の方々が表彰されました。

(敬称略)

## 岩手県知事表彰

### ◆施設長又は従事者

外里 優子

### ◆社会奉仕功労者

廣崎 國雄

## 岩手県知事感謝状

### ◆在宅介護者

猪俣 悦子

## 岩手県社会福祉大会長表彰

### ◆社会福祉事業功労者

木地谷シキ

### 〔社会福祉協議会役職員〕

〔民生委員・児童委員〕  
宅石 良子 角 千エ子

## ◆共同募金運動功労者

高畑 辰巳 卯道 操  
下野 勝雄 砂子 秀男

中野 禎悦 水上 茂

宇部 繁 田中 正七

村塚 繁好

## ◆永年勤続功労者

細谷地諄吉 晴山アイ子

宇部金之蔵 宇部 正

島山英次郎 嶋守 博

澤里 富雄 宇部美喜男

## 岩手県社会福祉大会会長褒賞

### ◆在宅介護者

加藤 国敏 伊藤 重子

小袖いさ子

# 岩手県民生児童委員大会

9月19日開催の「平成25年度岩手県民生委員児童委員大会」において、多年にわたり民生委員児童委員として社会福祉事業の推進に貢献された次の方々を表彰されました。

(敬称略)

## 岩手県知事表彰

### ◆民生児童委員

馬場 憲也 下館 輝雄

## 岩手県民生児童委員協議会長表彰

### ◆永年勤続民生委員・児童委員

細畑 勉 播磨 忠一

### ◆優良民生児童委員協議会

侍浜地区民生児童委員協議会

# 岩手県老人クラブ連合会表彰式

11月15日、「平成25年度知事表彰・県老連会長表彰」の表彰式が行われ、多年にわたり高齢者福祉の増進に貢献された次の方々を表彰されました。

(敬称略)

## 岩手県老人クラブ連合会会長表彰

### ◆老人クラブ育成指導功労者

中田由太郎 村田 東助

### ◆優良単位老人クラブ

川井健康クラブ 大湊洋寿会

## 福祉作文コンクール入選作

平成25年度福祉作文コンクールは、市内小中、高等学校から43編の応募をいただき、審査委員会(小笠原牧子委員長)において、次のとおり入選作が決定されました。(敬称略)

### ◆小学校低学年の部

〔優秀作〕 小国小学校3年 清水畑未来  
〔準優秀作〕 長内小学校3年 佐藤 志宇  
〔佳作〕 侍浜小学校3年 久慈 未来  
〔審査委員会特別賞〕  
長内小学校1年 川向 寧々

### ◆小学校高学年の部

〔優秀作〕 長内小学校6年 大道 朱梨  
〔準優秀作〕 小国小学校6年 清水畑彩花  
〔佳作〕 長内小学校4年 下山 樹輝  
宇部小学校4年 上山 侑海  
長内小学校5年 小向 莉流  
〔審査委員会特別賞〕  
小久慈小学校4年 中戸鎖花凜

### ◆中学校の部

〔優秀作〕 久慈中学校3年 加倉 知奈  
〔準優秀作〕 山形中学校3年 下館 菜月  
〔佳作〕 山形中学校3年 横葉 萌美  
〔審査委員特別賞〕  
山形中学校3年 八幡 要太

### ◆高等学校の部

〔優秀作〕 久慈東高校2年 馬内みなみ  
〔準優秀作〕 久慈東高校2年 上山 萌  
〔佳作〕 久慈東高校2年 大西 桜



# 平成25年度 久慈市社会福祉大会

健康で安心して 住み慣れた地域で  
生きがいを持って生活を送ることができる  
地域社会を目指して

平成25年度久慈市社会福祉大会は、11月22日、久慈市総合福祉センターで行われました。大会には福祉関係者など284名が集い、「すべての市民が、健康で安心して住み慣れた地域で、生きがいを持って生活を送ることができる地域社会」を実現するために、住民行政、関係機関・団体が協働して積極的に取り組んでいくことを確認しました。

式典では、多年にわたり社会福祉の発展に貢献された26名(団体)と福祉作文コンクールに入選された児童生徒17名が表彰されました。

また、式典後には、「地域のみみなで心の筋トレいたしましょう」と題して、フリーランスアナウンサーでIBCアナウンス学院講

師でもある後藤のり子氏からご講演いただきました。

表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

(敬称略)

## 久慈市長表彰

### ◇社会福祉事業功労者

久慈幸太郎

### ◇広く社会に顕彰する者

精神保健ボランティア「ほっとふれんど」

### 久慈市社会福祉協議会長表彰

### ◇社会福祉事業功労者

〔社会福祉協議会役員〕

田表 一夫

〔社会福祉団体役員〕

小向 照子

〔民生委員・児童委員〕

細畑 勉 播磨 忠一

〔民間社会福祉施設役員〕

谷地 力夫 船渡 光子

米田久美子

### ◇ボランティア活動功労者・団体

大沢リツ子 宇部 フク

Dreamsプロジェクト

長内学童保育所わんぱくクラブ

久慈かたくりの会

### ◇共同募金運動功労者

工藤 忠藏 三船 秀彦

伊藤 恵子 大向 達夫

中屋敷 進 田村 英寛

### ◇褒賞

神谷 勝子 中塚 良枝

谷崎コト子 五林 ナミ

茅森 クニ 小屋畑賢一

## 久慈市社会福祉大会



オープニングセレモニーで福祉作文コンクール優秀作品を発表した小国小学校3年清水畑未来さん



久慈市長表彰の精神保健ボランティア「ほっとふれんど」



後藤のり子氏による記念講演



表彰を受けられた皆様  
おめでとうございます！

平成25年度

福祉作文コンクール

優秀作紹介

「1まいの写真」



小国小学校三年  
清水畑 未来

「あっ、わたしだ。」

ぎんたらす久慈のへやにいたおばあさんのまくらもとにあった写真に、わたしがうつっていました。その写真は、一番見やすい所にかざってありました。

「なんで、わたしの写真があるのかな。」

と、はじめはふしぎに思いました。わたしは、おぼえていなかったのですが、それは、去年すずらんをわたしたおばあさんといっしょにとった写真だったのです。

「こんなに大切にかざってくれていた。きつと、すずらん訪問をまっけてくれたんだなあ。」

どうれしくなりました。 「このすずらんは、いい香りがしますよ。早く元気になってください。来年もまた、あえたらいいですね。」

と、やさしく声をかけて、そつとすずらんをまくらもとにおきました。そのおばあさんは、ずっとねたきりで、お話もできません。でも、その時だけは、しあわせそうに、にっこりわらってくれました。

わたしは、一年生の時にはじめてすずらん訪問をしました。その時に、「みんなをしあわせにするためにあるんだよ。」とおしえられました。ほんとうに、おどりとすずらんだけで、しあわせになつてくれるのかなどずっと思っていました。

でも、今年のすずらん訪問で本当だとわかりました。わたしたちが行くと、みんな笑顔でむかえてくれます。なかには、なみだを流している方もいます。あのおばあさんのように、しあわせそうにわらってくれる方がたくさんいます。わたしたちが訪問することなどと思いません。

来年もあのおばあさんに会ってすずらんの花をわたすことができたらいいと思います。そして三まの目の写真をとりたいたいです。

「助け合うことの大切さ」



長内小学校六年  
大道 朱梨

平成二十三年三月十一日。大きな地震と津波が東北地方をおさいました。私の住んでいる久慈市でも大きな被害が出ました。津波は物を壊し、多くの命を飲み込みました。そして、行方不明の人、けがをした人、生活に困る人をたくさん出しました。

地震や津波で被害を受けた人たちを助けるため、全国から自衛隊や警察、消防の方々がかけつけてくれました。毎日毎日、救助や捜索など一生懸命に活動してくれました。思うように生活できないことから、みんながイライラしたり不安になったりしていたあの時、自衛隊や警察、消防の方々の活躍を見たり聞いたり実際に声をかけてもらったりするうちに、少しずつ少しずつみんなが落ち着きを取り戻すことができたと思います。

今ふり返っても、本当に感謝の思いでいっぱいです。

あの時から二年が過ぎました。私は、今年の夏休みに、震災に関わる二冊の本に出会いました。一冊は復元納棺師の方の活動について、もう一冊は動物の命を救う活動についての本です。

復元納棺師は、事故や災害などで傷ついた遺体を、棺に入る前に元の形に戻す仕事をします。津波に流された体は、生きていた時の様子とは全く異なります。家族は、せめて最後の別れに、きれいな体で送ってあげたいと願ったそうです。復元納棺師の笹原さんは、その家族の願いを受け止め、できる限りの活動をしました。

また、動物の命を救おうと力をつくした方についても知りました。放射線が大きな問題となった福島県では、飼い主がペットと避難できず、動物が町をうろついていたそうです。このままでは飢えて死んでしまう命たち。太田さんは、そんな動物たちをできるだけ連れて帰り、飼い主を探す活動を繰り返しました。その活動を知っ



て、動物愛護団体も一緒に活動を広げていったそうです。

あの震災の時、自衛隊や警察、消防の方々のほかにも「自分の力を役立てたい」という気持ちをもった方々が、様々な分野でボランティア活動されていたことを知りました。人の命を救うため、人の生活を助けるため、そして動物の命を救うために活動するたくさんの人々。私は、お互いを思いやり、助け合える日本という国が、本当に素晴らしい国だと改めて感じることができました。

まだまだ震災からの復興は果たされていません。今も苦しんでいる人たちが大勢います。私は、被災された全ての方々が、本当に安心して暮らせる日が一日でも早く来てほしいと思うようになりました。そして、将来は看護師になって、困っている人の役に立ちたいと真剣に考えるようになりました。

今私ができるボランティアは、身近で小さなことばかりです。でも、いつか自分も復興を支える力になりたいと思っています。

## 「忘れていたこと」



久慈中学校三年  
加倉 知奈

「上手だね。」  
この言葉を聞いて、自然と笑みがこぼれた。

私は、マンドリン部に所属している。そして、いろいろな場所に行って演奏し、聞いている人が笑顔になれるようにと思って弾いてきた。最近も、ある場所で演奏した。学校の近くにある老人ホームだ。正直に言うと、私はそういうお年を召した方が苦手だった。なまっって言葉が聞き取りづらくし、何よりも、大きくゆっくりと話さなくてはいけなからだ。それが、偏見だということも分かっているし、それなりに優しく接しているつもりだ。しかし、心の中ではあまりお年寄り達と関わりたくないと思っているのも事実だった。

老人ホームを訪れた時に感じたのは、いろいろな人がいるということ。私がいつも見ていたのはほんの一握りの人達だったのだ。実際は、車いすに乗り、話すことも

難しそうな人や、笑顔で話をしてる人、と様々な人がいた。それを見て私は、かわいそう、自分も年をとったらあんな風になるのかなど、どこか冷めた目で見ていた。そして演奏が始まり、最初の一曲を弾き終えた時だった。私にとって驚くべき光景があった。心から拍手をしてくれているおじいさん、おばあさん。あんなに温かい拍手をうけたのは初めてだった。そして、隣の人と話しているのが見えた。何を言っているのかは分からなかったが、笑顔で話しているところを見ると、良い内容なのは分かった。その後、何曲か演奏して、丁度『上を向いて歩こう』を演奏し終えた時だった。「上手だね。」

そんなことを言われたのは初めてだった。なぜか急に嬉しくなっていて、心がすっと軽くなった。人前で演奏することに慣れたといっても、やはり少しは緊張する。しかし、その言葉を聞いて一気にそれが解けた。それを言ったおばあさんにとっては何気ない一言だったのだろう。しかし、私にとっては大きな、大きな一言だった。魔法のような言葉だった。その後から私がお年寄りを見る目が変わったのは、今までいろいろな場

所で演奏してきたが、こんなに温かい言葉をかけてくれたのは初めてで、それが無性に嬉しかった。今まで偏見を持ってお年寄りが思っていること、感じていることを知ろうとしなかったことを後悔した。私が生きてきた十四年間。確かに大人から比べればまだまだ子供だ。けれど、学んだことならたくさんある。教えられたこともたくさんある。よく知りもしないのにだめだと決めつけてはいけない。そんな当たり前のことを忘れていた。そんなことはたくさんあったはずなのに。心のどこかで、お年寄りに対して何もできないそう、と勝手に思い込み、かわいそうだから優しくしてあげようとしていた。もし、自分が相手の立場だったら…。そんな恩着せがましい、失礼な人はごめん。ただ私はそういう人だったのだ。「上手だね」その言葉は、人として当たり前のこと、忘れていたことを思い出させてくれた。演奏終了後、先生が「秋にもまた演奏に来ます。」と言っていた。その時に、私は伝えたいと思う。あの日言えなかった「ありがとう」を。その日まで、私はもっと練習をがんばろうと思う。それが私にできる唯一のことだから。だけど、何

よりも、もう一度演奏するのがとても楽しみだからだ。  
「ありがとう、おばあさん。」

## 「実習から学んだこと」



久慈東高校二年  
馬内 みなみ

私は先日、授業の一貫として特別養護老人ホームへ実習に行きました。

私は特別養護老人ホームという場所がどのような雰囲気でのような場所かなど全くと言っていい程わかりませんでした。イメージとして持っていたのは、おじいちゃん、おばあちゃんが元気に暮らしているという漠然としたものでした。実際に実習先に行ってみると雰囲気は明るく利用者さんが歩き回っていました。正直、驚きました。どこにでもいる元気がお年寄りと変わらないように見えただけです。しかし、奥に進めば進む程、自力で歩いている人は少なくなり、車イスを自分の意思で動かしている人、手伝ってもらわなければ移動できない人、寝たき

りの人など様々な方がいました。始めに元気な利用者さんを見ていただけにショックは大きいものでした。そこで思ったのが、普通に外を歩いているお年寄りや背中の曲がったお年寄りなど様々な方がいますが、その人たちが、当たり前前に元気でいられることが普通だと思っていた私は、自分の祖父母を含めお年寄りが元気でいられるのはとても素晴らしいことなんだと改めて思われました。

実習の中ではコミュニケーションを取る場面も多く利用者さんとお年寄りとお話する機会もあまりなく話を話して良いのかもわからず、最初のうちはただ隣に座って話そうとしても声が出ず、利用者さんに話しかけられるのを待っているような状態でした。コミュニケーションを取るということがこんなにも大変なことだとは思ってもいませんでしたから、それだけで疲れてしまっていました。

このようなことがあり、私はコミュニケーションを取ることに苦手意識を持つようになりました。しかし、そんな思いはすぐに打ち消されました。実習が始まって何日かしてから内心、またコミュニケーションかぁ、嫌だななどと

思っていました。話してみると不思議なくらい話しが弾みました。その方との会話をきっかけに利用者さんと話しをすることが楽しいと思えるようになりました。その方との会話が何度聞かせていただいたのが勉強のこと、結婚のこと、家庭のことでした。今勉強しないと後から後悔するからしっかりとやりなさいよ。結婚はその先ずっと一緒に居ななきゃならないんだからね。家庭では我慢が大事だよ。旦那さんを支えていかなきゃいけないんだよ。と、沢山のことを話して教えてくれました。言ってみれば赤の他人である私にこんなにも懸命に話しをしてくれる姿に胸が熱くなりました。人生の先輩のアドバイスや助言は聞いておくべきだなと改めて思いました。役立つことばかり教えてもらえて嬉しかったです。これらのことがきっかけとなり、利用者さんに自分から話しかけ始めるようになりました。やはりこの方のように話してくれる方はあまりいらっしゃらずどうしようと思ったことも何度かありました。話しをすることがとても楽しかったのです。また、会話だけでなく私がどうすれば良いのかわからずにいた時には「これは、この人のだよ。」と利用者

さんに教えられたことがありました。その方は認知症が進行しており減多にそのようなことはないよ、職員の方も驚きながらも喜んでいました。そのことを聞いた私も驚きましたが、嬉しくなりました。

この施設での実習も終わり少し寂しくも感じていた頃にボランティアの募集を見かけました。そこで、また実習のようにお話しや、触れあう機会があるのならばボランティアに参加してみようかなと思ひ友達と参加することにしました。参加してみると施設は実習先の施設とも違う雰囲気でした。利用者さんも様々でした。ボランティアの内容は施設のお祭りの手伝いでした。始まる利用者さんたちも食べ物を買ったり、歌を聞いたりとても楽しそうでした。私はそれを見てお年寄りや障害をもった方でも楽しむことが必要だと思いました。健常者と一緒に楽しめる社会になることが、これからの暮らしに必要なではないかと思いました。



## 一時預かり「すこやかルーム」開設

通院や学校行事など、少しの間、子どもの面倒をみてほしい・・・そんな声に、NPO法人サロン「たぐきり」（関合征子理事長）は10月28日から就学前児童の一時預かり事業「すこやかルーム」を開始しました。誰もが気軽に集えるサロンを開設し、相談や傾聴を通して心と身体の健康づくりに取り組んできた「たぐきり」が、今度は地域の子育てを支えます。お気軽にお問い合わせください。



- 開所時間 8：30～17：30
- 対象児童 生後6ヶ月～6歳（就学前）
- お問合せ サロン「たぐきり」☎75-3790  
※前日16時までに予約ご相談ください。

## 老人クラブ社会奉仕の日

久慈市老人クラブ連合会（村田東助会長）では9月20日の老人クラブ・全国一斉「社会奉仕の日」にあわせ、「きれいな地球を子どもたちに」を合言葉に、花植えや清掃美化などの社会奉仕活動に18クラブ、延べ360名が取り組みました。



新井田「恵比寿会」では、敬老会開催にあわせ、新井田子ども会館前や、恵比寿神社周辺の草刈り、清掃活動を行いました。



西の沢「さつき会」では、三船十段記念館の花壇や植木等の草刈り、清掃活動を行いました。

## ご寄付ありがとうございました

（平成25年10月から11月まで）

（敬称略）

### ◆福祉基金

- ボランティアサークルホットタウン .....16,009円
- 久慈茶道会 .....5,500円
- 匿名 .....10,000円
- 匿名 .....5,000円
- 匿名 .....2,000円
- 匿名 .....1,710円
- 匿名 .....1,430円
- 匿名 .....570円

### ◆ボランティア活動センターへの支援物資

- 東京都 .....保坂晶子（衣類）
- 東京都 .....弦巻幸子（衣類）
- 東京都 .....小島亜弓（衣類）

## ふれあいサロンだより

### 和野元気の会（宇部町）

震災後、野田村のサロンに共感し、町内でも同じように集まる場所が欲しいという声がかきかけとなり平成23年にスタート。

毎月20日を開催日に、たぐきりや手芸などの物づくりのほか昼食会や公民館の草取りなども行っています。多い時は20人ほどが参加し楽しい時間を過ごしています。



# 平成25年度高齢者講座「白樺大学」のご案内

## 久慈湊地区学級

- ◇日時 12月13日(金)  
午前の部 9時30分～  
午後の部 13時30分～
- ◇会場 久慈中央公民館  
久慈湊分館
- ◇内容 実技「しめ縄作り講習会」
- ◇参加費 材料代 500円(当日徴収)
- ◇定員 午前・午後各25名

## 河南地区学級

- ◇日時 1月17日(金)  
13時30分～
- ◇会場 土風館  
多目的ホール
- ◇内容 レクリエーション  
「いきいき健康教室」
- ◇参加費 無料
- ◇定員 50名

## 閉講式・全体学習会

- ◇日時 2月28日(金)  
9時30分～
- ◇会場 久慈市総合福祉センター
- ◇内容 講演  
「震災と医療について」  
(仮称)
- ◇参加費 無料
- ◇定員 100名

◇申込み・問合せ 各講座1週間前までに社協本所☎53-3380又は社協山形事務所☎72-2800まで



## 久慈市共同募金委員会助成事業 平成26年度福祉のまちづくり支援事業のご案内



久慈市共同募金委員会では、住民参加によるコミュニティづくりの推進を目的に、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」活動を支援するため、住民を対象として行う地域での福祉活動に助成します。

実施期間：平成26年度

対象団体：ボランティア団体、NPO法人、町内会等の住民グループ

対象経費：住民を対象として行う地域での福祉活動に要する経費

助成額：1～10万円(千円単位：助成総額30万円)

応募方法：助成事業申請書に次の書類を添付し、久慈市共同募金委員会に提出してください。申請書は、総合福祉センターで配布するほか、久慈市社協ホームページからダウンロードできます。

- (1) 団体の活動がわかる資料(総会資料、会報等)
- (2) その他特に必要とする資料(計画書、見積書等)

応募受付期間：平成25年12月1日～平成26年1月15日

助成決定：平成26年4月

問い合わせ先：久慈市共同募金委員会

〒028-0014 久慈市旭町7-127-3 久慈市総合福祉センター内

☎53-3377 FAX 52-7715

## 住民支え合い活動助成事業

岩手県共同募金会から市内2団体が被災者の生活支援や地域復興に向けた取り組みを支援する「住民支え合い活動助成事業」の助成を受けております。

まだ応募受付中です。詳しくは、久慈市共同募金委員会(☎53-3380)へお問い合わせください。

### ○NPO法人サロンたぐきり：栄町(理事長 関合 征子)

事業名：子育て支援交流事業

### ○中組町内会：湊町(代表 山崎 毅)

事業名：ふれあいサロン交流会



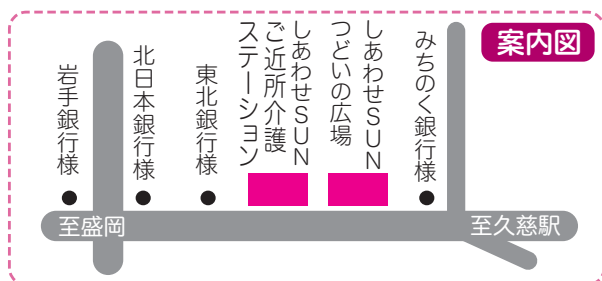
## 「しあわせSUN」つどいのひろば行事予定

- ・絵本読み聞かせ「よんで!よんで!!」  
12/6(金)・1/17(金)・2/7(金)
- ・スマイル子育て相談会  
12/20(金)・1/24(金)・2/21(金)
- ・親子あそびの講習会「SUNSUNひろば」  
12/13(金)・1/10(金)・2/14(金)
- ・まちの保健室(健康相談)  
12/8(日)・1/8(水)・2/8(土)

◇時間 いずれも10時30分～  
(まちの保健室のみ10時～)

◇問合せ ふくしサロン「しあわせSUN」  
☎61-3933(二十八日町1-13)

※行事予定は変更になる場合がありますので、ご確認をお願いします。



## 認知症の人と家族のつどい・くじ

◇日時 1月10日(金) 13時30分～15時30分

◇場所 元気の泉

◇参加費 無料

◇問合せ 川向幸子 ☎72-2159

ひとりで悩んでいませんか。認知症の人も家族も不安でいっぱいです。病気のことや介護について語り合い、人とのつながりを大切に、一步一步進んでいきましょう。世話人 川向幸子

## 福祉の村温水プールからのお知らせ

### ・臨時休館

プール槽の塗装工事のため次の期間、臨時休館いたします。

**12月9日(月)～翌年1月6日(月)**

※毎週月曜日、年末年始(12/29～1/3)以外は、フロント営業(8:30～17:15)しております。

### ・無料開放

**1月12日(日)と13日(月)の10:00～16:00**

を無料開放いたします。

※餅つきとおしるこのふるまいはございません。

◇問い合わせ 屋内温水プール ☎53-9292

## 歳末たすけあい芸能大会

◇日時 12月8日(日) 12時30分～

◇会場 久慈市文化会館「アンバーホール」  
大ホール(川崎町)

◇入場料 一般 500円、小中高 300円  
前売入場券は、総合福祉センター等で販売中。

◇問合せ 社協本所 ☎53-3380

益金は、歳末たすけあい募金に充てられます。

## 平成25年度山形老人福祉センター自主事業

### いきいき料理教室

◇日時 12月20日(金) 10時～13時30分

◇場所 山形老人福祉センター

◇定員 30名程度

◇内容 実技:「野菜ソムリエによる料理教室」

講師:山本 由佳子氏

・梅干しのだまこ汁(きりたんぼ)

・しいたけの肉詰め

・ほうれん草を使った一品

・お豆とアボカドのサラダ

・抹茶とあずきの蒸しパン

※当日内容が変更になる場合があります

◇参加費 500円(材料代として)

◇その他 エプロンと三角巾をご持参ください  
久慈市役所よりバスが出ます  
(9時15分出発)

◇問合せ 12月16日(金)までに社協山形事務所  
☎72-2800へ

## 「年末年始の休館日」のお知らせ

温水プールを除く福祉の村各施設・山形老人福祉センター・ふくしサロン「しあわせSUN」は、次の期間、休館いたします。

**12月29日(日)～1月3日(金)**

問い合わせ

・久慈市総合福祉センター ☎53-3377

・山形老人福祉センター ☎72-2800

・ふくしサロン「しあわせSUN」☎61-3933



# 歳末たすけあい運動にご協力をお願いいたします!

今年も12月1日から12月31日まで『みんなでささえあう、あったかい地域づくり』をスローガンに「歳末たすけあい運動」が全国一斉に行われます。

戸別募金につきまして、奉仕者（行政連絡区長さん）を通じお願いいたしますので、**1世帯300円**を目安としてご協力をお願いします。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

また、例年、職場・学校・グループ等からも広くご協力をいただいております。今年もよろしくお願いたします。


**みなさまから寄せられた募金は次の方々に激励金としてお届けいたします!**

- ◇ 寝たきりまたは日常的に介護を必要とするお年寄り（65歳以上）
- ◇ 一人暮らしのお年寄り（75歳以上） ◇ 身体障がい（児）者1級・2級の方
- ◇ 知的障がい（児）者の方 ◇ 精神障がい者1級・2級の方

昨年度は4,759,469円の募金が寄せられ852名の方々に激励することが出来ました。今年もご協力をお願いいたします。対象者の調査は地域の民生委員さんをお願いしておりますが、いずれも所得が少ない世帯が対象となります。（※生活保護世帯は対象外となります。）

募金は久慈市共同募金委員会（久慈市総合福祉センターまたは山形老人福祉センター内）で受け付けています。

- 久慈市総合福祉センター  
☎53-3377
- 山形老人福祉センター  
☎72-2800



## 生活復興支援のご案内

### ■生活復興支援資金の貸付

被災した所得が少ない世帯が対象で、住居の移転費、家具什器・自動車購入等に必要な経費、住宅補修等に必要経費の貸付です。

### ■ボランティアの派遣（ボランティア活動センター）

ボランティアが引っ越しや掃除などのお手伝いをします。

### ■生活支援相談員による訪問とサロン活動

#### ○訪問活動

相談員が被災された世帯を訪問して、体調の変化や心配ごとなどをお伺いしています。

#### ○サロン活動

心のケアを目的としたサロンを開催しています。

#### ①被災地区でのサロン活動

開催地区：湊町上、湊町中下、元木沢、二子、玉の脇、夏井駅前・大湊、半崎、久喜、小袖、幸町（応急仮設住宅） ※地域の回覧板などでご案内しています。

#### ②サロンここから

開催日：12 / 3・6・10・20・24・27

1月以降の開催日については、久慈市保健推進課（☎61-3315）へお問い合わせください。

場 所：久慈市こころとからだの相談センター（久慈市保健センター）

**お問い合わせは社協までお気軽にご連絡ください。 ☎53-3380**



## ふれあいの集い

岩手県共同募金会から「平成25年度生活・交流支援活動助成事業」の助成を受け、10月27日に平庭山荘で「ふれあいの集い」を開催しました。対象は、生活支援相談員が訪問している皆さん。心身ともにリフレッシュいただくため、タッピングタッチ協会認定インストラクターの釜沢俊一氏の指導による「タッピングタッチ」のほか、入浴やパークゴルフでリラックスした一時を過ごしました。参加者からは「しばらくぶりにのんびりと楽しく過ごせた」という感想をいただきました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

